

2020年6月12日

No. 20 - 164

株式会社 伊予銀行

愛媛の企業で初めて「MONETコンソーシアム」に加盟しました！

～業界・業種の垣根を越えて連携し、安心・快適に移動ができる地域社会の実現に貢献～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、ソフトバンク株式会社やトヨタ自動車株式会社などの共同出資会社である MONET Technologies 株式会社（代表取締役社長 兼 CEO 宮川 潤一）が2019年3月に設立した「MONET コンソーシアム」に加盟しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、高齢化による移動が困難な方の増加や、公共交通機関の便数削減などが社会課題となっており、その解決策として、ICT を活用して交通機関をシームレスに結び付け、効率的な移動サービスを目指す MaaS¹ が注目されています。

「MONET コンソーシアム」は、多様な業界・業種の企業が連携し、自動運転を見据えた MaaS (Mobility as a Services) 事業開発などの活動を行うことで、次世代モビリティサービスの推進と、移動における社会課題の解決や新たな価値創造を目指しています。

当行は、今回の加盟により、業界・業種の垣根を越えて連携を行うことで、地域における MaaS の推進を通じて、安心・快適に移動ができる地域社会の実現に貢献してまいります。

なお、「MONET コンソーシアム」への加盟は、愛媛の企業および四国の金融機関で初めてとなります。

記

加盟時期

2020年5月

加盟目的

業界・業種の垣根を超えた企業間での情報交換や勉強会などを通じて、MaaS に関する最新情報や動向を収集し、地域に発信することで、地域経済の活性化に貢献すること

「MONET コンソーシアム」

項目	内容
目的	<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティサービスの推進 移動における社会課題の解決や新たな価値創造
取組み	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転を見据えた MaaS 事業開発（Autono-MaaS² に向けた車両・サービス企画、他社サービスとのデータ連携、自治体とのマッチングなど） MaaS 普及に向けた環境整備（勉強会・情報交換会の実施、課題取りまとめ・提言活動など）
対象企業	業界・業種を問わず、さまざまなサービスを展開する企業

¹ MaaS とは、ICT を活用して交通をクラウド化し、自家用車以外の全ての交通手段による移動を1つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。

² Autono-MaaS とは、Autonomous Vehicle(自動運転車)と MaaS を融合させたトヨタ自動車株式会社による自動運転車を利用したモビリティサービスを示す造語。

以上